

平成 16年 5月 12日

報道関係各位

常磐音楽舞踊学院、創立 40 周年を記念し、

ポリネシアンショー東京公演開催

7月 1日 東京・中野サンプラザで

常磐興産株式会社

常磐興産株式会社 (本社 :福島県いわき市、社長 :斎藤 一彦)が運営する一大温泉テーマパーク「スパリゾートハワイアンズ (福島県いわき市)」のメインショーを担う福島県知事認可各種学校「常磐音楽舞踊学院」では、創立 40周年を記念して、ポリネシアンショーを東京で開催します。公演は「常磐音楽舞踊学院 40th Anniversary ポリネシアの夜明け “This is The Spirit of Hawaiians”」として、平成 16年(2004年)7月 1日、東京の中野サンプラザで行われます。

スパリゾートハワイアンズの「ポリネシアンショー」ダンサーを養成してきた、福島県知事認可各種学校「常磐音楽舞踊学院」は、昭和 40年(1965年)4月に設立され、平成 16年(2004年)4月、40周年を迎えました。40年の想いを込めて、東京公演を実施します。神秘的、そしてダイナミックなステージは、想像を上回る「驚き」と「感動」を与えます。繊細で優雅、そして情熱的なポリネシアンエンタテインメントが平成 16年(2004年)7月 1日、かつてないスケールで繰り広げられます。

常磐音楽舞踊学院 40th Anniversary ポリネシアの夜明け “This is The Spirit of Hawaiians”」の実施概要は次の通り。

「ポリネシアの夜明け “This is The Spirit of Hawaiians”」実施概要

開催タイトル スパリゾートハワイアンズ附属 常磐音楽舞踊学院 40th Anniversary
ポリネシアの夜明け “This is The Spirit of Hawaiians”

開催会場 中野サンプラザ（東京都中野区中野 4-1-1）

開催日時 2004年7月1日（木）
開場： 18:00
開演： 18:30～20:30（二部構成）

実施内容 オリジナル「ポリネシアンエンタテインメント」。
光と音、特殊効果を駆使した壮大な空間、迫力ある大舞台。

< 第一部 > 魂のおどり
歴史そして伝統
休憩
< 第二部 > ポリネシアの夜明け
きらめく太陽の光、そして明日へ

当日、サンプラザ前広場では、福島県いわき市によるプロモーションが実施される予定

出演 スパリゾートハワイアンズダンシングチーム
ハワイからのゲスト Mrs.Genoa Keawe（ジェノア・ケアベ）予定

チケット料金 3,000円（自由席）

取り扱い チケットぴあにて発売

主催 常磐音楽舞踊学院40周年公演実行委員会

後援 ハワイ州観光局ほか
公演内容その他につきましては、予告なく変更となる場合がございます。

参 考 資 料

『炭砒』から『観光』への転身！

ハワイアンズのポリネシアンショーの歴史は昭和30年代に遡ります

1. 『常磐ハワイアンセンター (現在のスパリゾートハワイアンズ)』が生まれるまで

前身は石炭産業

『黒いダイヤ』。かつて『石炭』はこう呼ばれていました。

本州最大の炭田であった常磐炭礦株式会社(常磐興産の前身)は、国の基幹産業を担う自信と活気に満ちあふれ、石炭の町であった現在の福島県いわき市常磐地区は、戦前から戦後にかけて毎日がお祭りのようでした。

しかし、昭和30年代後半、エネルギーの主役は石炭から石油に進化し、状況は一変しました。石炭産業は没落の一途をたどり、同時に石炭に依存していた地域経済にも極めて大きな影響を与えたのです。

邪魔だった『温泉』を活用 = 昭和38年に『温泉レジャー施設』構想

それを救ったのは『温泉』でした。この温泉は、石炭掘削の妨げとなり、劣悪な労働環境や生産力ダウンをもたらす“負”の資源でした。石炭を1トン掘るために何と40トンの温泉を汲み出すほどで、当時一日の湧出量は、日本の総人口に毎日一合(0.18リットル)の温泉を分けられる程の量だったといえます。

常磐炭礦株式会社は、企業の存続と地域経済の再生を目指し、新業種への参入を検討。

坑内から湧出する温泉の地熱と豊富な湯量を利用すれば、東北の地でも一年間温暖な空間が創出できる」として、昭和38年に『温泉レジャー施設』の建設計画を発表したのです。つまりマイナスをプラスに転じる発想、これがすべてのスタートとなりました。

2. 『ポリネシアンショー』の船出

・日本初のフラダンスの学校『常磐音楽舞踊学院』の設立

『温泉レジャー施設』の売り物として考えられたのは、暖かさを象徴するもの『熱帯樹とフラダンス』、そしてハワイの雰囲気でした。炭砒跡地に日本で初めてのテーマパーク・日本のハワイ『常磐ハワイアンセンター』を開業する、周囲の度肝を抜く大胆な発想でした。

エンタテインメントとして考えられたのが、ハワイの伝統の踊り『フラダンス』。更には『ポリネシア』の島々の民族舞踊でした。

そのため創業を一年前に控えた昭和40年4月、日本初のフラダンス、ポリネシアン民族舞踊の学校『常磐音楽舞踊学院』を設立(昭和43年12月に福島県知事認可の各種学校となる)。一期生18名がエンタテイナー育成のために集められました。

・常磐音楽舞踊学院』設立の精神

炭砒人の血を受け継いで、炭砒の空気の中で育ってきた人が踊ることによって、この目的が達せられる」松竹や宝塚のショーを真似ようと思ふ。少女歌劇やレビューを見たい人は東京か神戸に行けばいい。ハワイアンセンターは、ここでしか見られないショーを上演する」。

この精神に基いて集められた「一期生」は全員が炭砒関係者の子女ほとんどが踊りの経験すらない素人。多感であった彼女達は「腰振りダンス!」「へソを出して踊るなんて!」という周囲からの冷やかな視線を浴びながらも、必死に民族舞踊の習得に取り組みました。

昭和40年12月、東京大手町のサンケイホール「旗揚げ公演」が大成功

それは常磐炭砒、炭砒関連企業従事者、更には地域経済の将来という重い荷物を背負った厳しい船出でした。「重厚長大」と呼ばれた高度成長の時代背景の中、第一次産業「炭砒」が、お客様相手の第三次産業「観光」へ、衝撃的に事業を転換したことは、社会的に大きな注目を浴びたことは言うまでもありません。

「常磐ハワイアンセンター」開業を1ヶ月後に控えた昭和40年12月6日、東京大手町サンケイホールで行われた「旗揚げ公演」には、昼夜それぞれ2,000名を超えるお客様が押し寄せ、入場をお断りするほどの話題であったといえます。

こうして昭和41年1月の開業以来、ハワイアンズ最大の呼び物である「ホリホリアンショー」はその日本における先駆けとしてスタートして以来、38年間一度も途絶えることなく続けられ、開業以来延べ4千6百万人ものお客様に、「ハワイ」に象徴される南の島へのあこがれと夢、そして感動を与えてきました。

熱い想いを込めて・・・

2004年7月1日 中野サンプラザ。

それは大きな不安の中、必死の思いで漕ぎついた「旗揚げ公演の魂」と、決して忘れることのできない「40年前の感動」の再現です。

今、設立の精神に立ち戻り 熱い想いで・・・



< 公演イメージ >

この件に関する報道関係者のお問い合わせ先

常磐興産株式会社 レジャーリゾート事業部

広報グループ 首都圏担当 : 猪狩^{いがり}、鈴木^{すずき えいすけ}(英輔)

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3丁目 7番 19号

TEL. 03 - 5645 - 7076 FAX 03 - 5645 - 7077

広報グループ 現地担当 : 長瀬、板倉

〒972-8555 福島県いわき市常磐藤原町蕨平 50

TEL. 0246 - 43 - 3191 FAX 0246 - 42 - 3528

<http://www.hawaiians.co.jp>